

8-1

平成27年度補正予算(案)

一億総活躍関連施策	479億円
○ 不登校児童生徒への支援モデル事業	6億円
○ 中学校夜間学級の設置促進事業	0.2億円
○ 地域未来塾に係る学習支援を促進するために必要なICT機器等の整備	4億円
○ 「所得連動返還型奨学金制度」導入に向けたシステム整備等	26億円
○ 学校施設等の耐震化・老朽化対策等の推進	443億円
◇公立学校	388億円
◇私立学校	50億円
◇重要文化財建造物	5億円
災害復旧・防災減災事業	108億円
○ 台風等の自然災害により被災した公立学校施設の災害復旧	19億円
○ 地震・火山対策	21億円
○ 大学・研究開発法人等の防災基盤の強化	68億円
その他喫緊の課題への対応等	291億円
○ 国の危機管理に資する宇宙インフラの整備等	

文部科学省合計 878億円

担当局課一覧

事業名	とりまとめ担当局課
【一億総活躍関連施策】	
○ 不登校児童生徒への支援モデル事業	初等中等教育局 初等中等教育企画課
○ 中学校夜間学級の設置促進事業	初等中等教育局 初等中等教育企画課
○ 地域未来塾に係る学習支援を促進するために必要なICT機器等の整備	生涯学習政策局 社会教育課
○ 「所得連動返還型奨学金制度」導入に向けたシステム整備等	高等教育局 学生・留学生課
○ 学校施設等の耐震化・老朽化対策等の推進	
◇ 公立学校	大臣官房文教施設企画部 施設助成課
◇ 私立学校	高等教育局私学部 私学助成課
◇ 重要文化財建造物	文化庁文化財部 参事官(建造物担当)付
【災害復旧・防災減災事業】	
○ 台風等の自然災害により被災した公立学校施設の災害復旧	大臣官房文教施設企画部 施設企画課
○ 地震・火山対策	研究開発局 地震・防災研究課
○ <u>大学・研究開発法人等の防災基盤の強化</u>	<p>【国立大学】 研究振興局 学術機関課</p> <p>【科学技術振興機構】 科学技術・学術政策局 人材政策課</p> <p>【理化学研究所】 研究振興局 基礎研究振興課</p> <p>【放射線医学総合研究所】 研究振興局 研究振興戦略官付</p> <p>【物質・材料研究機構】 研究振興局 参事官(ナノテクノロジー・物質・材料担当)付</p> <p>【核融合関連】 研究開発局 研究開発戦略官(核融合・原子力国際協力担当)付</p> <p>【J-PARC、SPRING-8】 科学技術・学術政策局 研究開発基盤課</p>
【その他喫緊の課題への対応等】	
○ 国の危機管理に資する宇宙インフラの整備等	<p>【宇宙関連】 研究開発局 宇宙開発利用課</p> <p>【原子力関連】 研究開発局 原子力課</p>

文部科学省 (代表)03-5253-4111

8-2

平成27年度文部科学省補正予算案 各目明細書

組織・項・事項	目の区分	平成27年度 成立予算額 (千円)	補正要求			改平成27年度 予算額 (千円)	積算内訳
			追加額(千円)	修正減少額(千円)	差引額(千円)		
スポーツ庁		601,357	64,385	△ 33,793	30,592	631,949	
101 スポーツ庁 共通費		562,168	0	△ 33,793	△ 33,793	528,375	
95 スポーツ庁一 般行政に必要な 経費		555,744	0	△ 33,793	△ 33,793	521,951	
	95016-2111-02 職員基本給	325,868	0	△ 33,648	△ 33,648	292,220	
	02-01 職員俸給	260,207	0	△ 27,448	△ 27,448	232,759	
	02-02 扶養手当	14,724	0	△ 6,200	△ 6,200	8,524	
	02-03 地域手当	50,937	0	0	0	50,937	
	95089-2111-05 児童手当	2,720	0	△ 145	△ 145	2,575	
	95016-2122-08 職員旅費外3目	227,156	0	0	0	227,156	
95 審議会に必要 な経費		6,424	0	0	0	6,424	
108 独立行政法 人日本スポ ーツ振興 センター施 設整備費							
13 独立行政法人 日本スポーツ 振興センター 研究施設整備 に必要な経費	13073-1925-16 独立行政法人日本ス ポーツ振興センター 研究施設整備費補助 金	0	64,385 <u>64,385</u>	0	64,385	64,385	独立行政法人日本スポー ーツ振興センター <u>スポーツ医・科学研究施 設整備費</u>
(その他の項)		39,189	0	0	0	39,189	スポーツ医・科学研究施 設整備費

平成28年1月12日(火) 衆議院予算委員会 玉木雄一郎(民主・維新・無所属クラブ)
 出典:文部科学省「平成27年度文部科学省所管一般会計歳出予算補正(第1号)各目明細書」(第190回国会(常会)提出、抜粋)に玉木雄一郎事務所にて加筆

要求番号	事項	前年度予算額	28年度概算要求額	対前年度比較増△減	備考															
130	<p>10-15 独立行政法人日本スポーツ振興センター施設整備に必要な経費</p> <p>001 独立行政法人日本スポーツ振興センター施設整備に必要な経費</p> <p>15072-1925-16-0612 独立行政法人日本スポーツ振興センター施設整備費補助金</p>	0	377,072	377,072	<p>(青 H00)</p> <p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>要求額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 代々木競技場耐震改修工事設計 (実施設計)</td> <td>377,072</td> <td>施設整備費補助金</td> </tr> </tbody> </table> <p>(要旨) 独立行政法人日本スポーツ振興センターが設置するスポーツ施設の整備に必要な経費。</p> <p>※国立競技場の改築に係る経費については、新国立競技場整備計画再検討のための関係関係会議における整備計画の再検討結果を踏まえ、予算編成過程において適切に検討することとする。</p>	施設・設備の内容	要求額	財源	1. 代々木競技場耐震改修工事設計 (実施設計)	377,072	施設整備費補助金									
施設・設備の内容	要求額	財源																		
1. 代々木競技場耐震改修工事設計 (実施設計)	377,072	施設整備費補助金																		
131	<p>20-13 独立行政法人日本スポーツ振興センター研究施設整備に必要な経費</p> <p>13073-1925-16-0613 独立行政法人日本スポーツ振興センター研究施設整備費補助金</p>	0	321,303	321,303	<p>(国立スポーツ科学センター)</p> <p>(科 R21) JISS本館出入口自動ドア等改修工事</p> <p>(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>要求額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. JISS本館出入口自動ドア等改修工事</td> <td>64,385</td> <td rowspan="4">64,385</td> </tr> <tr> <td>2. JISS実験室等改修工事</td> <td>81,181</td> </tr> <tr> <td>3. JISS車椅子対応トイレ等改修工事</td> <td>104,976</td> </tr> <tr> <td>4. NTCウエイトリフティング場改修工事</td> <td>70,761</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>321,303</td> <td>研究施設整備費補助金</td> </tr> </tbody> </table> <p>(要旨) 独立行政法人日本スポーツ振興センターが設置するスポーツ区・科学研究施設の整備に必要な経費。</p>	施設・設備の内容	要求額	財源	1. JISS本館出入口自動ドア等改修工事	64,385	64,385	2. JISS実験室等改修工事	81,181	3. JISS車椅子対応トイレ等改修工事	104,976	4. NTCウエイトリフティング場改修工事	70,761	計	321,303	研究施設整備費補助金
施設・設備の内容	要求額	財源																		
1. JISS本館出入口自動ドア等改修工事	64,385	64,385																		
2. JISS実験室等改修工事	81,181																			
3. JISS車椅子対応トイレ等改修工事	104,976																			
4. NTCウエイトリフティング場改修工事	70,761																			
計	321,303	研究施設整備費補助金																		

(平成25年度予算額	7,567百万円)
平成26年度予定額	11,056百万円

1. 戦略的スポーツ国際貢献事業 1,145百万円 (新 規)

これまでのスポーツ交流に関する知見と実績を踏まえ、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催国として、IOCや世界の国々との交流・協力関係を築きながら、スポーツの価値をさらに高めようとする国際的な取組に貢献するため、オリンピックムーブメントの普及、国際的な人材養成の中核拠点形成、国際的なアンチ・ドーピング推進体制の強化支援を柱とする「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラムに取り組む。

2. 2020ターゲットエイジ育成・強化プロジェクト 1,369百万円 (新 規)

2020年オリンピック東京大会において活躍が期待される年代の競技者に対する特別育成・強化プロジェクトを実施することにより、金メダルランキング世界3～5位を目指す。

3. メダル獲得に向けたマルチサポート戦略事業 2,834百万円 (新 規)

メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、アスリート支援や研究開発について、多方面から専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、アジア競技大会においてスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。また、パラリンピック競技について、上記取組の分析等を行いつつ、トライアルを実施する。

4. 日本オリンピック委員会補助 2,593百万円 (2,588百万円)

リオデジャネイロオリンピック競技大会等に向けた選手強化事業を実施するとともに、第17回アジア競技大会等に日本代表選手団を派遣する。

5. 日本障害者スポーツ協会補助【厚労省から移管】(うちパラリンピック競技の強化等)

899百万円 (717百万円)

パラリンピック競技大会等でのメダル獲得に向けた選手強化事業やアジアパラ競技大会等への日本代表選手団の派遣を行うとともに、障害者スポーツ指導者の養成や障害者スポーツの普及・啓発、調査研究、情報収集・提供等を行い、障害者スポーツの振興を図る。

6. NTC競技別強化拠点施設活用事業 659百万円 (590百万円)

冬季、海洋・水辺系、屋外系のオリンピック競技及び高地トレーニングについて、既存のトレーニング施設を競技別のNTCに指定の上、施設を活用した事業を実施し、国際競技力の向上を図る。また、パラリンピック競技について、トライアルを実施する。

7. パラリンピックに向けた強化・研究活動拠点に関する調査研究 22百万円（新 規）

パラリンピック競技種目について、トレーニング環境に関する選手や競技団体のニーズ調査等を行った上で、選手が専門機関から十分な医・科学サポートを受けて、効果的・効率的に集中して強化活動に専念することができる強化・研究活動拠点の整備・運営の在り方を検討する。

8. トップアスリートの強化・研究活動拠点の機能強化に向けた調査研究 22百万円（ 22百万円）

ナショナルトレーニングセンター（NTC）、ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点及び国立スポーツ科学センター（JISS）の効果の分析及び諸外国の調査を実施し、強化・研究活動拠点の機能強化に向けた方策を検討する。

9. 次世代アスリート特別強化推進事業 394百万円（ 394百万円）

オリンピック競技大会でのメダル獲得に向けてナショナルコーチ及びアシスタントナショナルコーチを選任、配置し、特別強化プランを実施する。

10. 女性アスリートの育成・支援プロジェクト 413百万円（ 467百万円）

女性特有の課題に着目した女性アスリートの戦略的強化に資する調査研究や、女性競技種目における戦略的かつ実践的な強化のためのモデルプログラムによる女性アスリートの育成、女性特有の課題に対応した医・科学サポート等に関するモデル支援プログラムを実施し、女性アスリートの国際競技力の向上を図る。

11. JSC運営費交付金（競技性の高い障害者スポーツ支援に関する基盤構築事業） 23百万円（ 22百万円）

競技性の高い障害者スポーツ支援に向け、支援分野の知見の収集・整理、競技横断的な課題の抽出・解決及び多種目への応用や還元方法の検討、関係機関とのネットワーク構築、指導者やサポートスタッフ等の次世代リーダーを育成するための取組を実施・検証する。

12. JSC研究施設整備費補助金 683百万円（新 規）

JISSの低酸素宿泊室の一部及びNTC陸上トレーニング場管理棟のバリアフリー化を含む改修工事を行う。

13. 前年度限りの経費 0百万円（ 2,767百万円）

- ・マルチサポートによるトップアスリートの支援 0百万円（ 2,300百万円）
- ・メダルポテンシャルアスリート育成システム構築事業 0百万円（ 467百万円）

参考：平成25年度補正予定額

○ JSC研究施設整備費補助金 806百万円（新 規）

JISS・NTCの各施設及び各トレーニング場への連絡通路出入口の自動ドアへの改修を含むトップアスリートのサポート環境やトレーニング環境の改善・向上に資する整備を行う。

「好循環実現のための経済対策」進捗状況シート（文部科学省）

対策の柱立て(大区分)	I. 競争力強化策		担当部局	スポーツ・青少年局		
対策の柱立て(中区分)	3. 2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催を契機とした都市インフラ整備等		担当課	競技スポーツ課		
対策の柱立て(小区分)	(2)オリンピック・パラリンピック施設の整備等					
対策における施策の名称						
事業名	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催に向けた対応((独)日本スポーツ振興センター研究施設整備)		新規/既存	既存		
平成25年度補正予算額	8.06億円		一般会計/特別会計 (特会の場合には名称も記載)	一般会計		
事業の概要	パラリンピック選手等の利便性の向上を図るため、国立スポーツ科学センター及びナショナルトレーニングセンターの連絡通路入口の自動ドア改修工事等の実施					
実施方法	直接実施	委託・請負	○	補助金	負担金	交付金
	貸付金	その他()				
基金 (新規造成/既存基金への 積み増し)						
アウトプット指標 (進捗指標)	平成26年9月末までに補助事業者において民間企業等との契約率100%を達成					
関連する 行政事業レビュー 事業番号	349		関連する 基金シート番号			
実施スキーム	<pre> graph TD A[国] -- "交付決定 (2月14日)" --> B["(独)日本スポーツ振興センター"] B -- "契約手続等 (4月11日)" --> C[民間企業等] </pre>					
事業の進捗状況	(文部科学省における進捗状況) 平成26年2月14日に補助金の交付決定を行った。(交付決定率100%) (補助事業者における進捗状況) 平成26年4月から一部の契約の締結を開始。					
主な受注企業・団体名、 補助金交付先企業・団体名	(株)ノマドコンサルタンツ、(株)教育施設研究所、(株)設備計画、(株)総合設備計画、(株)学研教育みらい					
事業に関するURL (事業実施場所、補助先等)	○独立行政法人日本スポーツ振興センター http://www.jpnsport.go.jp/					